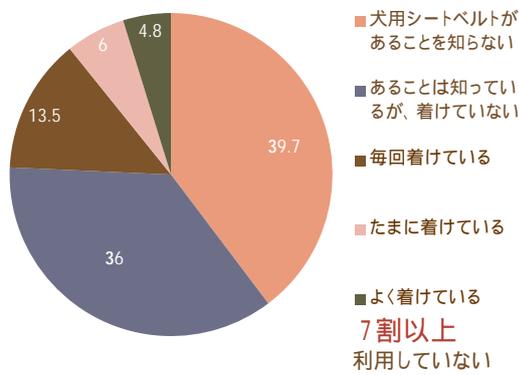
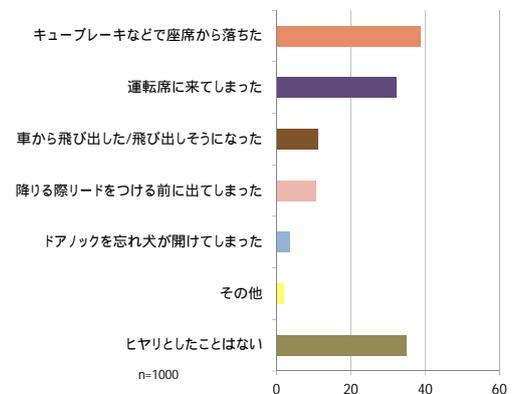


## \* 研究の概要(背景) \*

私自身ペットを飼っているがペットを車に乗せる際、ペット用ドライブ用品を利用しない一人だ。以前から利用しなかった際の危険性や安全性について考えていたにもかかわらずなぜ利用しなかったか自問し、更に実際の利用状況を調査したところ約6割も利用していないという結果が明らかになった。現在ペット用ドライブ用品が数多くあるにもかかわらず利用率は比較的少ないことから、これらは飼い主のペットへの安全性への意識の問題だけではなく、現在ある商品の使いやすさや便利さ、デザイン性などに大きな問題があるのではないかと考えた。最愛のペットの命や運転手の安全を守るため、また外部の事故を防ぐためにも人間同様シートベルトなど、ペットにも安全を確保するための製品を利用させることが大切であるということから、ペット用ドライブ用品を利用しやすく便利なものにするため、研究・改善を試みたいと考えた。



[ シートベルトの利用率 ]



[ 運転の際に感じた危険 ]

## \* 研究のねらい \*

ペット用ドライブ用品の利用率が比較的少ない背景には、ドライブ用品の必要性は意識しているにも関わらず、商品の使用勝手の問題や、デザイン性の問題、ペットが嫌がりそうなどといった懸念から利用が避けられてきているようだ。多くの飼い主は現在あるドライブ用品への不満を持ち、より良い商品を求めており、それらが改善された製品があれば利用したいと考えている飼い主が多いようだ。そこで、これまで以上に快適なドライブを楽しんでいただくために飼い主の製品への願いや、ペットにとってもプラスになるような配慮も試みた、人とペットが安心安全にドライブを楽しむことができる製品を製作する。

ドライブ用品の問題点	飼い主の願い
* 使いにくい	* 使いやすい商品
* デザインが悪い	* デザインの可愛らしさ
* ペットが嫌がりそう	* 値段がお手頃
* ペットへの配慮が少ない	* ペットへの配慮がある
* ペットショップでの販売が少ない	* ペットが安心できる

[ ドライブ用品における課題 ]

## \* 研究のプロセス \*



## \* 成果物(完成作品) \*

ペットの安全を確保することはもちろんのこと、ペットの安全確保に興味と関心を持ってもらうため、飼い主が使い易いよう、製品にはリードタイプと座席のヘッドレスに取り付けるタイプ、シートベルトを通すタイプの3機能を取り入れた。また使い勝手ばかりではなく、ペットにとって心地よいように、ペットの体にかかる負担を低減させる素材を選んだ。更に緊急の場合も手軽に利用できるようにするためには、普段から簡単に装着できるようにするとともに、この製品に慣れさせることが必要と考え、日常でも使用できるよう、洋服のようなデザインを取り入れた。最終的な形態は上図に示す通りであるが、実際に使用した結果、飼い主からは普段から装着させやすく、ペットとの散歩やドライブをより楽しめるようになったと言うような声が聞かれた。

## \* 考察 \*

現在数多くドライブ用品があるが、その中でも改善すべき製品の問題点と飼い主の望みに耳を傾け、確実に問題点を抽出し製品の検証を重ね、改善改良を繰り返すことによって、求めていた製品を作り上げることができた。今回のターゲットが動物であるということもあり、制作の上で難しい点もいくつかあったが、その分達成感もより感じられた。この製品は手軽さとデザイン面において大変好評であったが、サイズの面で改善を求める声が聞かれたので、今後はサイズ調節ができるような工夫を取り入れ改善していきたいと考える。